【日本自費出版ネットワーク】メールマガジン★リバティ・パブ No.33

このメールマガジンは、NPO法人日本自費出版ネットワークの会員の皆様にお届けしています。

◆NPO法人日本自費出版ネットワーク・コミュニティサロン◆ 「リバティ・パブ」 2020-6-1 No.33

リバティ・パブとは… 自由な思いをカタチにしていこうという人たちが集い、 情報を共有する場です。

- ・リバティ…Liberty(自由)
- ・パブ……Publication (出版) とPublic House (公共の場)、PUB (大衆酒場)を掛けて

私たちの使命は、あふれる情報を文字にとどめ、言葉を編み、あるいは絵や写真にして、「本」に残したいという著者の思いを共有し、一緒に本を作り上げていくことです。 著者の思い描くものよりもさらに良いものに作り上げていく工程は、芸術作品を作り 出すことにも似ています。そう、自費出版は文化ですね。 リバティ・パブで一緒にこの文化を広めていきましょう。

こんにちは!日本自費出版ネットワークのメルマガ担当鳥原由美です。

緊急事態宣言は解除されましたが、いろいろな意味で予断を許さない日々が 続きそうですね。

そんな中、この自費出版ネットワークでは文化賞の出品作品選考が着々と進んでいます。 そして、私は「知っとこ岐阜」の後をどうしようかと悩んでおりました…。

各地からの「ご当地自慢」のアイデアもいただいたのですが、この時期なかなか 会員の方を繋いでいくのが難しく、結局、岐阜のお隣、我らが住む「愛知」から 「知っとこ愛知」をお届けいたします。

うちの会社には、自費出版アドバイザーが7人もいるのに、日頃このネットワークに 貢献できていないので、ここで発揮してもらうことにしました。 来年岐阜に行ったら、ぜひ愛知にもお立ち寄りください。

なお、今回の「会員便り」はなんと付録つきです。 付録は何と言っても開ける楽しみ! 乞うご期待!

それでは、「リバティ・パブ」No.33をお届けいたします。

♦♦♦♦♦♦♦ CONTENTS ♦♦♦♦♦♦♦♦♦

1. お知らせ…… 総会は6月20日に開催 書面表決に協力を

2. お知らせ…… 文化賞の1次選考が進んでいます 3. 自費出版事情··· ~会員便り~№.30 ☆ 知っとこ 愛知 ☆ その 1 ****** 1. お知らせ … 総会は6月20日に開催 書面表決に協力を 総会に提出する議案を審議する理事会が5月30日に開催されました。 会は一部役員の参加で、あとは書面表決で議案が採決されました。 会員の皆様には、この総会議案をなるべく早く送りますので、 ご確認ご検討していただき書面表決をお願いいたします。 2. お知らせ …文化賞の1次選考が進んでいます _____ 第23回日本自費出版文化賞の1次選考が進んでいます。 今回は5年ぶりに600点を超えましたが、選考委員も6人増えましたので 助かっています。 7月18日(土)の2次選考会頃にはコロナがもっと下火になっている ことを祈るばかりです。 3. 自費出版事情 ··· ~会員便り~ №.30 株式會社 日相印刷/日相出版 村上 義邦 今回、「会員便り」を寄稿させていただくことになりました

株式会社 日相印刷・日相出版 営業部 村上義邦と申します。

コロナ禍中の日常、いかがお過ごしでしょうか。 もういい加減ステイホーム的休日にはうんざり、 仕事もテレワークだし、あるいは、経済停滞で仕事が暇になってしまった… という方々もいらっしゃるかと思いますので、 前代未聞の添付ファイル併用の企画ものになっております。 時間の無い方、暇つぶしの必要ない方は無視しちゃってください。

実はこのコラムの原稿を書いていたらかなり長めの、意味不明なエッセイになってしまったため、せっせと削りに削って・・・それでもまだまだ長い・・・ なので、削るのはあきらめまして、いっそ皆様の暇つぶしにでもなれば… ということで発想の転換。

緊急企画!新型コロナなんてふっとばせ!

「完全非公認:第1回 自費出版アドバイザー裏検定試験」と題した 試験問題の問題文にしてしまいました。良かったらお楽しみください。

「本」が好きで仕事にしていらっしゃる方々が大半だと思いますので 共感、賛同していただける点もあるでしょうし、あるいはあまりの拙さに 異論も反論も多々あることかと思いますが、同じく本好きの人間のたわごとと 笑い飛ばし、何卒ご容赦くださいませ。

それでは始まり始まり・・・。

(続きは添付データ 会員便り付録1.docx ワードファイルをご覧ください。)

| ☆ | 知っとこ | 愛知 | ☆ その1 | |
|---|------|----|-------|--|
| | | | | |

愛知の日本一

今回から1年12回にわたり愛知県の紹介をさせていただきます。 担当するのは弊社の自費出版アドバイザー7人。 各々が自分の得意分野で徒然なるままに綴ってまいります。 どうぞよろしくお願いします。

まずは私から。私は生まれも育ちも愛知県は尾張の国。 濃尾平野の南西に伸びた知多半島の知多市で生まれました。 父は岡崎、母は名古屋の出身なので生粋の愛知人です。

愛知は山あり海ありの農水産物には恵まれた地で、私の生家も 庭の前はふき畑、5分も歩くと伊勢湾に面した海水浴場でした。

調べてみると「ふき」は日本一の産地です。他にも「ペコロス」なんていういさい玉ねぎも有名です。 シャコやワタリガニもよく食べたな~と思って調べると、 こちらも漁獲高日本一でした。

そしてトヨタを初めとするものづくり産業が盛んで財政力も比較的豊かな県です。 車の保有台数も日本で最も多く、道路も整備されています。

よって今回のようなコロナ禍であっても首都圏の割に拡大しなかったのは 車社会だからとも言われています。

まずは愛知の日本一自慢から始めてみましたが、これからパワースポット、 グルメ、方言、習慣、そして最後は愛知と岐阜の歴史的繋がりとつないでいきたいと思い ます。

お楽しみに。

株式会社 マルワ 鳥原由美

★あとがき

いつもとちょっと違う「会員便り」 原稿をいただいた時、その企画力にびっくりしました。 ご本人いわく、徹夜明けのハイテンションのまま書いてしまった ということでしたが、ランナーズハイっていうのでしょうか、、、 私は感動すら覚えました。

皆さんもステイホームの時間が長く続いたおかげで、自分の思わぬ才能に 気づかれた方もいらっしゃるかもしれませんね。

ピンチをチャンスに! と心から願う今日この頃です。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたらyumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。